

## 第2回更改専門部会 議事要旨

1. 日時：令和2年1月16日（木） 14：00～17：00
2. 場所：ソリッドスクエア ホール（ソリッドスクエア地下1階）
3. 出席者：別紙のとおり
4. 議事の概要

### （1）議題

#### ① 第7次 NACCS 更改 WG 提案内容についての結果報告

- 事務局から、議事資料1に基づき更改WGにて検討した内容および結果について説明の後、意見交換を行った。
  - 特記事項なし。

#### ② 第7次 NACCS 基本仕様書（案）

- 事務局から、議事資料2に基づき第7次 NACCS の基本仕様（案）の概要について説明の後、意見交換を行った。
  - 添付業務のファイル容量について、第7次 NACCS 更改を待たず、第6次 NACCS において増量することは可能なのか。（委員）
    - ⇒添付ファイル容量の増量に際しては受信側の対応についても配慮が必要であり、第6次 NACCS に対する要望においては単年度プログラム変更として都度検討させていただく。第7次 NACCS においては資料に記載の数値を原則として今後詳細仕様にて検討を行っていく予定である。（事務局）
  - 各種デジタルプラットフォームとの連携に関して、資料に記載の各種プロジェクトの中には2020年中に運用開始予定となっているプラットフォームが含まれているという理解である。これを踏まえ NACCS との連携対象となるプラットフォームについては、2020年以降に方針が示されるという理解で良いか。（委員）
    - ⇒情報連携を行うことにより、利用者の皆様に利便性向上等のメリットがもたらされるかが重要であると考えている。現時点では接続対象や時期について示すことはできないが、今後も情報収集を継続し、皆様にとっての有用性が認められたところで連携の実現に向け

た取組みを進めていきたいと考えている。（事務局）

- 理解した。利用者からの要望として、特定のプラットフォームとの連携について意見が挙がった場合は、詳細仕様の検討の場で検討いただけるという理解でよいか。（委員）

⇒詳細仕様検討の場はもちろんであるが、詳細仕様検討の場に限定せず、それより早いタイミングでも、接続のやり方やそれによってもたらされるメリットについて具体的なご提案をいただければ検討させていただきたいと考えている。（事務局）

- 最新技術の導入については、資料中の表にて（○や△などの）マーキングがされているが、基本仕様としてはこういった意味合いなのか教えていただきたい。（委員）

⇒基本仕様においては各種最新技術の導入の可能性を検討し、整理を行ったという段階であり、今後も各種最新技術を NACCS で活用した際の有用性や導入コストの兼ね合い等を鑑みつつ、検討を継続していく。資料に記載の表はあくまで現時点の整理であり、今後の検討を行うに際して可能性がある、という位置づけである。よって、表中で○となっている技術の導入を決定したといった意味合いではない。（事務局）

- 今後、詳細仕様検討の場などで、今回の整理された内容を見直す余地はあるという理解で良いか。例えば、ビッグデータについては基本仕様の段階で決定しておくものと思っているが、詳細仕様段階で方針変更可能か。（委員）

⇒繰り返しになるが最終的に導入するか否かは、コスト等を含めた総合的な観点から利用者の皆様にメリットとなるか、により判断される。ご指摘のビッグデータ解析については、解析の基礎となるデータの蓄積が必須であるが、ご存知の様に現在の NACCS には長期間に亘ってデータを保存する仕組みがない。ビッグデータを含め新たな技術を導入するか否かを判断する前に、まずは必要となる事前準備について検討をしなければならないというのが現在の評価である。（事務局）

- 最新技術の導入の判断がなされた際には何かしらのアナウンスがされるという理解で宜しいか。（委員）

⇒NACCS センターが独断で導入作業を勝手に始める、ということはないのでご理解の通りご心配は無用である。（事務局）

- 貨物状況通知サービスについて、陸運業者等の非 NACCS 利用者の

利用にあたっては無料とする想定か。（委員）

⇒現時点では料金体系まで検討が及んでいないため、明確な回答はできかねるが、非 NACCS 利用者向けのアプリケーション開発等の費用が発生することから、多少なりとも利用料金をいただくことになる想定している。料金体系については今後の検討を通して決めていく流れになる。（事務局）

- 料金を徴収するという事は、陸運業者なども NACCS 利用者になりうるということか。（委員）

⇒現時点では利用業種の拡大は想定していない。当該サービスは基本的に NACCS 利用者様向けとしており、本検討を進めていく中で環境を鑑みつつ、非 NACCS 利用者様向けサービスについても契約形態や利用方法を検討したいと考えている。（事務局）

- 禁則文字の入力を可能とするのは ACL 業務のみが対象なのか。例えば IDA 業務にも利用可能とするといった内容は含まれていないのか。（委員）

⇒第6次 NACCS の単年度プログラム変更要望の中で ACL 業務に対する要望として意見が多く寄せられていたことから、ACL 業務の改善の一環として記載している。ACL 業務以外にも禁則文字の入力に関する意見が寄せられた際には、詳細仕様検討の中で議論をさせていただく予定である。現時点で具体的な業務はあるか。（事務局）

- インボイス No でアンダーバーが利用されている場合があり、IDA 業務でエラーとなった経験があるので、禁則文字が入力可能となれば便利である。（委員）

⇒現時点での EDI 仕様上は入力不可となっているため、電文を受信する側の対応の可否等についても配慮が必要である。なお、ACL 業務については、情報に禁則文字が含まれていた場合に受信者側の自社システムで取り込みに影響がないことを確認した上で基本仕様に記載させていただいた。対象業務の検討にあたっては今後、意見交換等の議論を通じて引き続きご協力いただきたい。（事務局）

### ③ 今後のスケジュールについて

○ 事務局から、議事資料 3 に基づき第7次 NACCS 更改に向けた今後のスケジュールについて説明の後、意見交換を行った。

- 総合運転試験に関してもアンケートでの要望事項等はあったのではないと思うが、総合運転試験の進め方についてどこかのタイミング

で検討は行われるのか。（委員）

⇒第7次 NACCS においては、WG の中でも可能な限り早い時期に仕様を公開してほしいといった意見が寄せられたことを踏まえ、ベンダー決定後には早期に試験の実施方法について検討を行い、都度、情報共有させていただく予定である。（事務局）

- 情報共有については理解した。試験の実施方法や進め方について利用者と議論する場を設けるといったことは予定していないのか。（委員）

⇒総合運転試験の実施方法に関する利用者様との議論は想定していなかったが、ご要望として承った。（事務局）

- 詳細仕様の一部凍結とは何を指しているのか。（委員）

⇒第6次 NACCS 開発当時の情報を基に回答させていただくと、基本仕様に記載されている内容など比較的早い段階から検討が出来ているものについては、2022年3月頃に一部の詳細仕様を凍結する。また、詳細仕様検討の後半では新たに明らかになった課題や制度改正に伴う仕様変更について検討を行い、2024年3月を目途に仕様を凍結するという流れである。また、補足として第6次 NACCS の単年度プログラム変更についても、ある時期をもって凍結させる。時期は未定ではあるが、この時期をもって第7次 NACCS 更改時におけるプログラム変更要望についても併せて締め切りとさせていただく予定である。（事務局）

- 業界別に使用する機能の焦点が異なるので、可能であれば説明会は業界別に行っていただきたい（委員）

⇒ご意見として承った。可能な限りご希望に沿える様、検討させていただきます。（事務局）

## （2）全体を通じての意見

特記事項無し。

以上